



吉川 慶一
議員

質問 北陸新幹線開業が 市内に及ぼす影響について

糸魚川駅を利用する観光客の見込み数と実際の観光客数はどうだったか。観光地の整備状況、今後の計画についてはどうか。

広域観光連携の具体的な計画をどのように考えているか。また、近隣の自治体及び団体との新たな計画はあるか。

▼市長答弁

糸魚川駅の利用見込み数は、乗降調査の結果、開業前の想定を下回っているが、市内の主要施設の入込客数は伸びており、新幹線開業による効果が出ているものと思っている。

各ジオサイトの説明看板等については当初予定した整備を完了しており、アクセス道路等については実施

計画等に基づき、計画的に整備を行っていく。交流人口は、6月末までの入込客数では増加している。

現在、北アルプス日本海広域観光連携会議や上越三市観光連携実行委員会等で広域の視点に立った観光誘客を行っており、新たな対応も模索していく。

質問 糸魚川市防災計画の 見直しについて

焼山防災について、住民避難の計画はどのようにしているのか。また、噴火発生時、登山者の避難対応をどのようにするのか。また、地震津波防災については、国と県の津波防災計画の見直し、対応はどのようにされるのか。

▼市長答弁

新潟焼山火山防災協議会で避難計画を策定しており、10月10日には、避難計画に基づいた訓練を予定している。避難対応については、防災行政無線、緊急速報メール及びヘリコプターなどによる情報伝達を行うこととしている。

地震津波については、現在、県で調査を進めており、その結果を踏まえて速やかにハザードマップの見直しを行う。



古畑 浩一
議員

質問 糸魚川白嶺高校の学級減と 人口対策について

本年7月6日に示された平成28年度から2年間の高等学校等再編整備計画案において、糸魚川白嶺高校の現状4学級を3学級にすることが示されたが、現在市では少子高齢化に歯止めをかけるべく計画案を策定中であり、同校の学級減は若者の地元定着に対しても著しい悪影響を及ぼすと考えるがどうか。

8月19日、県教育委員会に行った要望内容と回答は。また、第三セクター鉄道移行後の通勤通学に支障はないか。

▼市長答弁

学級数の減による影響は、指摘のとおり生徒や保護者への負担増のほか、若者の地元定着に対しても影響があるものと考えている。したがって、県教育委員会に

対し、口頭ではあるが、学級減に対する遺憾の意を伝えてきた。

要望については、生徒数が減少していく中で、糸魚川白嶺高校の魅力ある学校づくりを進めることが重要であると考えており、糸魚川市固有の地域資源を活用した専門知識を学ぶ教育課程の創設への支援、また広域からの生徒の入学を視野に入れた魅力ある学校づくりを進めていただくよう要望したものであり、県教育委員会からは「中長期高校再編整備計画の中で検討する」旨の回答を頂いている。

朝の通勤通学時は、混雑している状況であるため、引き続き、えちごトキめき鉄道へ車両増設を要望していく。

